

Der Wind

(風)

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-1-1

江ノ電第2ビル 7F

Tel: 0466-26-3028 Fax: 0466-27-5091

E-mail: jdgshonan.official@gmail.com http://jdg-shonan.ciao.jp/

「ドイツ料理を楽しむ会」へのお誘い



大石 Christine 祥恵氏

料理を通してドイツ文化に親しむという趣旨で、湘南日独協会20周年記念行事の一つとしてこの会を企画しました。

講師と一緒に調理し、出来上がった料理と一緒にいただくという楽しい時間にしたいと思います。料理は苦手という方でも参加していただけます。歓談しながら調理の手順を眺めていても楽しめますし、出来上がった料理のご賞味だけでもかまいません。皆様のご参加をお待ちしています。

2018年11月17日(土) 11~15時。参加費 4500円

会場 C's Etude「シーズ・エチュード」

11時から約2時間: 調理実習/見学

13時から約2時間: 出来上がった料理で食事会

*湘南日独協会会員、ピアニスト高橋愉紀さんによるピアノ演奏もお楽しみください。

会場は片瀬山住宅街にある手作りケーキと喫茶のお店です。広い調理実習の場所ではありませんが、20数名の少人数で自宅の台所で料理するかのように身近に講師の調理手際を見て頂けます。

講師は大石 Christine 祥恵さんと鈴木洋子さん(大石講師令嬢)のお二人です。大石さんのお母様(ドイツ人)がよく作っておられたという、ドイツ・ザクセン地方の家庭料理を献立として提案して頂きました。

Schweinsfilet saechsische Art mit Kartoffeln und Kohl
ドイツ・ザクセン地方の家庭料理「豚ひれ肉の煮込み」ジャガイモと紫キャベツ添え

Apfelkuchen (りんごの焼菓子)

さあ、料理が出来上がりました! 早速、みんなの手作りを味見しましょう! ワイングラスを片手に、楽しいホームパーティーの始まりです!

お問い合わせ: 伊藤志津子 0466-28-4609

湘南日独協会の行事予定

■Schwatzerei am Stammtisch 第43回

日時 9月18日(火) 15:00~17:00

会場 ミナパーク 5階

会費 1,000円

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第62回

日時 9月24日(月) 15:00~16:30

会場 ミナパーク 5階

会費 1,000円

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第63回

日時 10月8日(月) 15:00~16:30

会場 ミナパーク 5階

会費 1,000円

■Schwatzerei am Stammtisch 第44回

日時 10月16日(火) 15:00~17:00

会場 ミナパーク 5階

会費 1,000円

■湘南オクトーバーフェスト

日時 10月21日(日) 14:30~17:00

会費 6,000円 (予約制)

会場 藤沢市民会館 第一展示集会ホール

詳細は同封チラシをご参照ください

早めにお申し込みください

■Schwatzerei am Stammtisch 第45回

日時 11月13日(火) 15:00~17:00

会場 ミナパーク 5階

会費 1,000円

■ドイツ料理を楽しむ会

日時 11月17日(土)

場所 シーズ・エチュード (片瀬山)

講師 大石 Christine 祥恵氏 鈴木洋子氏

会費 4,500円

詳細は左記ご参照下さい。

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第 64 回

日時 11 月 18 日 (日) 15:00~16:30

会場 ミナパーク 5 階

会費 1,000 円

■望年会

現在企画を進めています。11 月号でお知らせいたしますのでご期待下さい。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

日独のモノレール 2 社の提携の橋渡し



湘南モノレール



ブッパータール空中鉄道

湘南モノレール社とドイツ・ブッパータール空中鉄道社の 2 社は「姉妹懸垂式モノレール提携」を 9 月 13 日に締結の運びになりました。この日は、120 年前の 1898 年 9 月 13 日、ブッパータールの 400m のテストトラックで最初の懸垂式モノレールの試験走行が行われた記念すべき日です。

湘南モノレール社は 9 月 8 日 (土) 朝 10 時より大船駅に於いて、記念式典を行う予定です。また、9 月 9 日 (日) ~ 16 日 (日) の間、江の島に於いて、セーリング競技ワールドカップ (兼・五輪テスト大会) が開催されますが、これに先立ち、8 日 (土) 11:30 より江の島に於いて、同 Welcome Festival が催されることもあり、同社記念式典は 8 日 (土) 10:00 開催としたものです。

本式典後、本提携を記念した特別列車を、本年末まで運行の予定です。また、9 月 8 日 (土) の式典時・以降に、幾つかの記念イベントを計画しております。

上記に係るプレスリリースにつきましては、8 月 28 日 (火) 夕刻にリリース予定です。

一方、ドイツ WSW 社側は、前述の通り、9 月 13 日 (木) が記念すべき日ですので、同日にプレスリリースを行い、その後にイベント開催を計画されています。

この提携には、湘南日独協会西山忠壬顧問が協力し湘南モノレール尾渡英生社長から多謝感謝されています。

8 月 28 日のプレスリリース等祝賀行事の詳細などは湘南モノレール社のホームページをご覧ください。

<http://www.shonan-monorail.co.jp/>

6 月例会 講演会

「グリム童話と森ー現代環境意識を育んだ「森はわたしたちのもの」の伝統ー」

会員 山口泰彦



山口泰彦氏

6 月 24 日 (日) に開催された例会では、ドイツ文化史、キリスト教史がご専門で、現在は情報通信医学研究所主任研究員の森涼子さんにご講演いただきました。

グリム童話というと、子どもの頃、児童文学全集で「ヘンゼルとグレーテル」や「ブレーメンの音楽隊」などいくつかの物語を読んだ印象が残っていますが、実は最近、岩波文庫の『グリム童話集』全五冊を装丁箱入りで購入して、「さあ、読もう!」と意気込んでいたところでしたので、ちょうどいいタイミングで今回のお話をおうかがいすることができました。

それではさっそく森さんのお話に移りましょう。

1 ドイツ人にとって森は特別な場所

ドイツ人の森思い入れは以前から強かったのです。最初に森さんがお話されたのは最近の事例。

その一つが、ドイツの森林管理官だったペーター・ヴォールレーベン氏の著書「Das Geheime Leben der Bäume」(2015 年 邦訳は長谷川圭訳『樹木たちの知られざる生活』2017 年 早川書房)がドイツ国内でロングセラーを記録していること。

この本によると森の中の木はお互いにコミュニケーションをとり、助け合っているのだそうです。

そしてもう一つの例が、シュピーゲル誌が 1981 年に酸性雨の影響によって「森が死んでいく」という表現で特集を組んだことが大きなインパクトとなり、その後、環境問題が大きな政治的課題となって 1983 年の連邦議会選挙で環境政党「緑の党」が初めて 27 議席を獲得したこと。

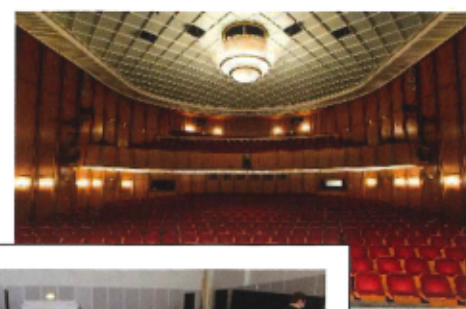
酸性雨はドイツ以外の国にも降り、森林が被害を受けているはずですが、ドイツではこのような大きな政治的動きになりました。

2 いつからドイツ人は森が好きになったのか

では、ドイツ人はいつから森が好きになったのでしょうか。

少し時代をさかのぼると、ナチスが「永遠の森林」を「永遠のドイツ民族」に結び付け、森林保護をドイツ民族意識高揚のイデオロギーとして利用しました。

ブレーマーハーフェン 志賀トニオ氏



舞台から見た客席とコレペティトアとして歌手（右上に見えます）のオーディションの伴奏をする筆者

さらに時代をさかのぼると、ドイツ・ロマン派のグリム兄弟が集めた民話集『グリム童話集』（初版 第1巻 1812年、第2巻 1815年）にたどり着きます。『グリム童話』では「ヘンゼルとグレーテル」のように、恵まれない境遇の主人公二人が森に入り、知恵を使って危機を乗り越え幸せになるという、「チャンスを与える場」として森が描かれています。ロマン派にとって、欺瞞に満ちた森の外の世界に対して、森は転機の間所だったのです。

しかしながら、ドイツ・ロマン派以前の森は違いました。ドイツ中世の英雄叙事詩『ニーベルングの歌』で、ドラゴンを倒し不死身の体を得た英雄ジークフリートは、その後の闘いでも勝利をおさめました、森の中で家臣に裏切られ殺されてしまいます。

中世では、森の外の世界は英雄が活躍する場で、森の中はあってはならない裏切り行為が行われる場所でしたが、ロマン派が森のイメージを変えたのです。ロマン派が森に対する思い入れの出発点でした。

講師の森さんからは、他にも森の利用権をめぐる領主と農民の争いなどとても興味深いお話をご披露いただきましたが、紙面の都合でとてもすべては紹介しきれません。詳しくは森さんの著書『グリム童話と森』（2016年築地書館）をぜひご覧になっていただければと思います。

ドイツ人の森に対する思いや、その変遷と時代背景がとても丁寧にわかりやすく書かれています。そして何より筆者である森さんの森に対する思いが伝わってきます。

最後になりましたが、森様、このたびはお忙しい中、ご講演をいただきどうもありがとうございました。



左上：森先生の著書 右上：先生を囲んで 下：懇親会



ブレーマーハーフェン歌劇場では6週間の夏休みが終わり 8月15日から今シーズンがスタートしました。その仕事始めのスケジュールは9時～10時、社員食堂で顔合わせ。10時～11時、舞台上にてシーズン初めの挨拶。11時から各持ち場で仕事始めとなります。入れ替わりの多い業界ですので、9時からの顔合わせで、今シーズン新たに加入した15名程の仕事仲間と初めて面会しコーヒーを飲みながら交流を深めます。10時からの挨拶では、そのニューフェイスの面々が一人一人紹介されます。ここでは1年を通して唯一100人を超える劇場の全従業員が集まり、総支配人の挨拶と毎年恒例の火災報知器についての説明が行われます。火災報知器は実際に鳴らされ、舞台上で火を使う事が禁じられている事や、もし火災が起きた時の処置を丁寧に説明されます。そして、私にとって感慨深いのは、この日に再会した歌手やオーケストラ奏者のニューフェイス達。あの大変であったオーディションを突破し、この舞台に共に立つ事の喜び。自分が伴奏したその時を思い出しながら、彼等に祝福の言葉をかけることのできる特別な時間なのです。そこで今回は劇場のコレペティトアのオーディションの仕事についてお話ししましょう。（次頁へ続く）

歌手の場合、劇場の専属歌手が別の劇場に移動もしくは契約が延長されなかった時、新しい専属歌手を探す事になります。もしくは演目によって、専属歌手だけでは賄えない時にゲスト歌手を雇います。

専属歌手のオーディションの場合、どの声種であるか確認し、その声種のスタンダードなレパートリーを一通り事前に目を通す必要があります。

例えばスプレットソプラノと呼ばれる声種の場合、フィガロのスザンナ、ドンジョヴァンニのツェルリーナ、魔弾の射手のエンヒェン等。これらおよそ10～20曲前後のアリアを事前に練習し、録音を聞き準備をします。オーディション当日には楽屋口でリストをもらいその日の受験者の人数を確認。多い時は2人で分担し、一人で5人～10人程度を伴奏します。一人5曲程度稽古し、本番ではその中から2曲審査員から指定されます。一曲目は自分で選ぶ事が出来る事もあるので、この5曲のプログラミングと一曲目の選曲が重要なポイントとなります。5曲の内訳は劇場から指示があり、ミュージカルを英語で、オペレッタをドイツ語で、オペラをドイツ語とイタリア語で及び現代曲、といった具合です。スプレットソプラノは快活でチャーミングな役柄が多いので、演技力や言語力も重要視されます。これら5曲を一人10～15分程度で稽古しますが、オーディション開始時間は決まっていますので、時計を見ながら柔軟に対応します。上記のスタンダードな曲は手短に稽古し、マイナーな曲に時間をかけます。よくある例では、開始2時間前には2～3人の歌手しかおらずゆっくり時間をかけて稽古をしていたら、開始30分前になって10人もの歌手がほぼ同時に到着し、一人3分づつ、大急ぎで稽古をする事になってしまう事。この場合上記のスタンダードな曲は稽古せず、自分が弾いた事のない曲だけ、もしくは歌手が自分で一曲目に選ぶ予定のものだけ選別して稽古し、あとは同僚が伴奏している時に舞台袖で楽譜を見て少しでも音楽を頭の中に入れて対応します。いざオーディションの本番の時は、どれだけフレキシブルに対応できるかがポイントになります。歌手の人は緊張していますから、それを程よくほぐす事も必要ですし、突然速くなったり、遅くなったり、時には歌詞を忘れて数小節飛ばしてしまう事もあります。そうなった事を審査員に気付かれないように伴奏できれば成功です。専属歌手の審査の場合、2～3か月以上

数回に分けてオーディションを実施し、30～40人の中から4名程度が2次審査に進みます。2次審査では、1次審査で聞けなかったアリアを歌ってもらい、音楽監督や演出家でもある総支配人からの指示があり、その指示に対応できるかが審査されます。最後には面接があり、この2次審査を通った歌手が、上記の仕事始めに現れるわけです。(了)

演奏会のお知らせ



**第41回 高橋愉紀氏
オーシャンプロムナード
トークコンサート**

Q 日時
2018年 9月30日(日)
14時開演(13時30分開場)

Q プログラム
ショパン 24無伴奏 第1集
ショパン 3曲集
ショパン 3曲集
ショパン 3曲集

ベートーヴェンと女性たち
目下、ベートーヴェン研究は、生涯期間別人生と交差するものが多く見られる。特に、女性との関係は、その中でも重要なテーマの一つである。このコンサートでは、ベートーヴェンと女性との関係を中心に、その音楽の背景や、その音楽の魅力を、高橋愉紀氏から詳しく解説する。また、ベートーヴェンの音楽を、その当時の文脈の中で、その音楽の魅力を、高橋愉紀氏から詳しく解説する。

★会場 オーシャンプロムナード(高橋愉紀氏 主催)

★料金 2,500円
(高橋愉紀氏 主催)

★開演 オーシャンプロムナード(高橋愉紀氏 主催)

江ノ電沿線新聞社

★申込・問合せ
江ノ電沿線新聞社 0466-26-3028



**アラン・ギルバート指揮
NDRエルブフィルハーモニー
管弦楽団**

2018年11月3日(土) 18時開演
2019年より西暦前月に改定する
アラン・ギルバートとの数回公演

2018年11月3日(土) 18時開演
2019年より西暦前月に改定する
アラン・ギルバートとの数回公演

2018年11月3日(土) 18時開演
2019年より西暦前月に改定する
アラン・ギルバートとの数回公演

2018年11月3日(土) 18時開演
2019年より西暦前月に改定する
アラン・ギルバートとの数回公演

会員高橋愉紀氏の
トークコンサートです
お問い合わせは
江ノ電沿線新聞社

ハンブルグを拠点とする
オーケストラの演奏会
お問い合わせは
鎌倉芸術館(チラシ参照)

出版のお知らせ



『黒おばさん』
クララ・フ
エヒナー
原作(ドイツ語)、19
世紀メル

ヘン集の初の日本語翻訳が出版されました。会員中村茂子氏の翻訳、発行 幻冬舎、1080円(税込み)です。

独検のお知らせ

独検 2018 冬

実施級: 1級、準1級、2級、3級、4級、5級

試験日: 12月2日(日)

出願: 郵送 9/1～10/19

Internet 9/1～10/18

独検事務局

<http://www.dokken.or.jp>

Tel: 03-3813-0596

ドイツ語講座受付中です

同封チラシをご参照下さい

編集後記

○7月例会は関口講師の体調により中止になりました。次の機会を楽しみに下さい。

○20周年記念行事も終盤です。オクトーバーフェスト、ドイツ料理を楽しむ会、望年会まで元気で楽しみましょう。(大久保)